

令和5年(2023年)11月24日(金)



## おみせやさんごっこ



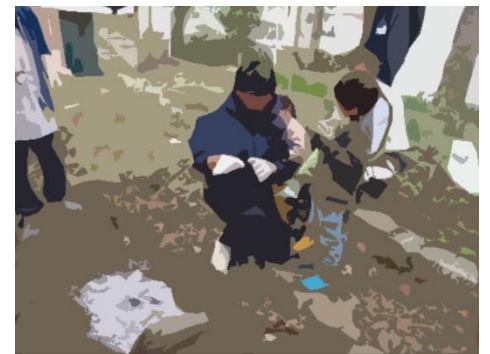
かしわ祭が終了したばかりですが、もう次の行事の取組が始まっています。幼稚部では12月8日(金)におみせやさんごっこをやる予定です。例年、視聴覚室にお店を開き、お兄さんお姉さん、そして先生たちに来店してもらい、自分たちで作ったアイスやピザ、お弁当などを売っていましたが、今年はかしわ祭で使ったさつまいもがたくさんあるので、焼き芋屋さんをやることにしました。

今ではスーパーでも売っている焼き芋ですが、一昔前までは冬の風物詩として、ゆっくりと走る焼き芋屋さんの車をよく目にしたものです。夜になり「いーしゃきいも！やきいも！ホッカホカのおいもだよ！おいしい、おいしいおいもだよ！いーしゃきいも、焼き立て！」と独特の言い回しが遠くに聞こえてくると、無性に焼き芋が食べたくなりました。今でもお住いの地域では聞こえてくるでしょうか？そんな焼き芋文化を子どもたちにも伝えたいと考え、今年はお店を構えるのではなく、自作の焼き芋カーで各学部売り歩くことにしました。売りに行く時間は午前中です。各学部では真剣に授業をしています。そこに幼稚部の子どもたちがかわいらしい声で焼き芋を売りに行ったらどうなるでしょうか？「授業中だよ、うるさい！」と言われるか、ちょっと手を休めて「焼き芋くださーい！」と顔を出してくれるか、今からドキドキです。

### 本物の焼き芋だよ！



11月15日(水)、焚火をして本物の焼き芋を食べました。春にさつまいもの苗を植え、「お水をジャー！」と言いながらせせと水をあげて育てたさつまいも。収穫までの様子はかしわ祭でご覧いただいた通りです。幼稚部の畑ではすでに火を起こして、炭を作っていたので、あとはアルミホイルで巻いたおいもを投入するだけです。子どもたちは腰を引きながら恐る恐る炭の上においもを置いていました。焼き芋ができるまではもう少し時間が必要です。ずっと眺めていたいところですが、火の番を野田先生にお願いして、畑を後にしました。

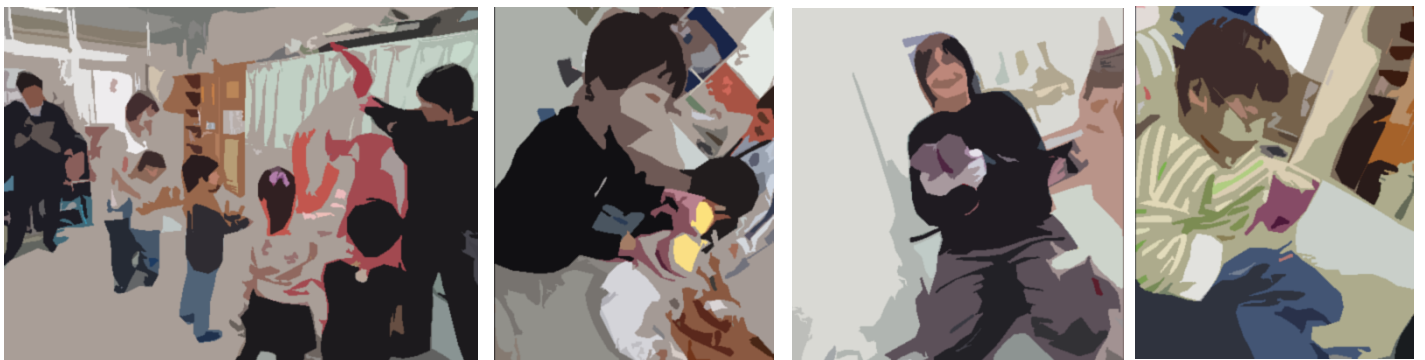


焼き芋の出来上がりを待つ間、教室でやきいもごっこをしました。まずはさつまいも掘りから。「うんとこしょ、どっこいしょ」と、かしわ祭で使用した畑からさつまいもを掘りおこします。時間の都合上、長靴やお金は出てきません。みんなでたくさんのさつまいもを掘り出しました。掘ったさつまいもは、よく洗ってから銀紙で包み、焚火の中に入れます。「あれ？焚火用の木がないよ。教室のあちこちに木が隠れているから探してね！」と言うと、子どもたちは宝探しのように必死で段ボールの木を集めてくれます。すごい勢いです。次に葉っぱを集めます。良く見ると本物の落

ち葉が教室中に散らばっています。「さあ、赤や黄色のきれいな落ち葉を集めてね。集まったかな？集まったら火をつけるよ」

ん？火ってどうやってつけるのかな？子どもたちは直火を見たことがありますか。キャンプの経験があれば別ですが、日常生活で直火を見る機会はあまりないですね。そこで今回は大きな模型のマッチを登場させました。一人一人マッチの使い方を教え、シュツと擦ってみると、小さな(イラストの)種火が4つできました。その火を葉っぱの前に置き、みんなで「ふー、ふー」と息を吹きかけます。火がついたら「やきいもぐーちーぱー」を歌いながら出来上がりを待ちましょう。「やきいもやきいもおなかがあぐー、ほかほかほかほかあちちのちー……」歌いながらも子どもたちは「まだかな？まだかな？」と気が気ではありません。ところが、……背後から「パチパチ、ゴー、ゴー」とただならぬ音がしてきました。えっ？何の音？……びっくりして子どもたちが振り返ると、さっきは小さかった火が、自分たちの背より大きくなっているではありませんか！「あっ！火が！焼き芋が焦げちゃうよ！」みんなどうする？

「そうだ！お水をジャーしよう！」と誰かが気がつきました。そこで近くにあったじょうろで水をかけると……火がしゅーっと収まってくれました。もう安心です。焼き芋もできたよ。「さあ、どうぞ」と一人一人に焼き芋を渡すと「あちちちち」と絶妙な演技をしてくれます。すごく上手で笑ってしまいます。あれ？園行先生のおイモは焦げて真っ黒になっちゃったよ。(それを見ると、子どもたちは自分のおいもを半分分けてくれました。やさしいですね。)



そんなことをして遊んでいる間に、給食の時間になりました。本物の焼き芋もできた頃でしょう。さあ、みんなで畑に行ってお芋を食べよう！

畑では、ずっと火の番をしてくれた野田先生が食べ方を教えてくれました。どうかな？本物の焼き芋は？熱いでしょう？これがホカホカって言うんだよ。「皮を剥いて食べてね。舌をやけどしないでね。え？もっと食べたいの？んー、この後給食だからね…これで最後だよ。」などと話をしながら、みんなであっという間に食べてしまいました。

